

パラグアイ定期報告(7月分) 政治情勢

2013年8月作成

概要

(1)内政

1日、ベラスケス上院議長(兼議会議長)及びラミレス下院議長の下、新議会が発足した(上院45議席、下院80議席)。また、同日、フランコ大統領が、議会における恒例の年次報告を行い、外交については、昨年6月の大統領弾劾後、メルコスール及び南米諸国連合(UNASUR)からの批判を受けたが、OAS、EU等からは、パラグアイの立場に対する支持を得た他、本年5月に太平洋同盟オブザーバー参加申請が承認された旨述べた。また、内政については、経済発展、保健衛生及び教育の質の向上、民主的かつ公正な総選挙の実施等を実現した旨強調した。

(2)外交

●12日、ウルグアイのモンテビデオで開催されたメルコスール首脳会合において、パラグアイ大統領就任式が行われる8月15日をもって、パラグアイのメルコスール関連会合への参加権停止が解除されることが決議されるとともに、ベネズエラが議長国に就任した。

●これに対し、同日、カルテス次期大統領は声明を発表し、パラグアイに対する関連会合への参加権停止の解除については、そもそもパラグアイの参加権停止は、メルコスールの民主主義へのコミットメントに関するウスアティア議定書の規則に合致せず、パラグアイは同参加権停止の決定を認めていない旨述べた。

●また、同次期大統領は、ベネズエラのメルコスール正式加盟は、新規加盟国に関するアスンシオン条約、オウロ・プレット議定書及びベネズエラのメルコスール正式加盟に関する議定書が踏まえられておらず条約違反であるとして、パラグアイのメルコスール復帰は、その権利を完全に行使しながら、法の支配及びパラグアイの尊厳が尊重される形で行われる旨強調した。

1 内政

(1)新議会の発足及びフランコ大統領による年次報告

●1日、ベラスケス上院議長(兼議会議長)及びラミレス下院議長の下、新議会が発足した(上院45議席、下院80議席。会期は2013年7月1日から2014年6月30日まで)。

●また、同日、フランコ大統領は、議会において恒例の年次報告を行い、外交については、昨年6月の議会における大統領弾劾に伴い発足した現政権は、メルコスール及び南米諸国連合(UNASUR)による批判を受けたが、OAS、EU等からは支持された他、本年5月には太平洋同盟へのオブザーバー参加申請が承認された旨述べた。更に、内政については、経済発展、保健衛生及び教育の質の向上、民主的かつ公正な総選挙の実施等を実現した旨強調した。

(2)司法審議会及び裁判官審査委員会の上院代表の選出

11日、上院本会議において、司法審議会(Consejo de Magistratura)及び裁判官審査委員会(Jurado de Enjuiciamiento de Magistrados)の上院代表に関する審議が行われ、司法審議会については、カルドソ上院議員(リベラル党)が、裁判官審査委員会については、ゴンサレス・ダエル上院議員(コロラド党)及びフェレイロ上院議員(前進する国家連合(左派))がそれぞれ選

出された(注:司法審議会は、政府、議会(上下両院1名、最高裁判所、大学、弁護士会の代表計8名による諮問機関であり、最高裁判事等の選出に際し、3名1組の候補(terna)を上院に対して推薦することを主な任務としている。また、裁判官審査委員会は、最高裁判事、司法審議会委員、上下両院議員の代表計8名による諮問機関であり、裁判官等により犯罪、職務の不適切な履行がある場合、同裁判官に対して罷免を含む措置を検討することを主な任務としている)。

(3)リベラル党党首の就任

●12日、リベラル党のフランコ党首代行に代わり、サギエル上院議員が同党の党首に就任した。なお、本年4月の総選挙の同党の敗北の責任をとってリャノ党首が辞任した際、サギエル上院議員は、司法審議会の上院代表を務めていたことから、党首を兼務することができず、代わりにフランコ党首代行が就任していた経緯がある。

(4)上下両院各常任委員会委員長の選出

●5日に選出された上院各常任委員会委員長の名簿は以下のとおり。

委員会	委員長(政党)
憲法・国防委員会	フリオ・セサル・フランコ上院議員(リベラル党)
立法・司法・労働委員会	エンリケ・バケタ上院議員(コロラド党)
予算委員会	ダリオ・モンヘス上院議員(コロラド党)
外交委員会	ミゲル・アブドン・サギエル上院議員(リベラル党)
議会運営委員会	アントニオ・オビエド・マツ上院議員(UNACE 党)
文化・教育・宗務・スポーツ委員会	ブランカ・オベラル上院議員(コロラド党)
人権委員会	ミルタ・グシンキ上院議員(コロラド党)
ラテンアメリカ経済・協同組合・経済発展・統合委員会	ミゲル・ロペス・ペリート上院議員(前進する国家連合)
農業改革・農村福祉委員会	シルビオ・オベラル上院議員(コロラド党)
公共衛生・社会保障・麻薬対策委員会	グスタボ・アルフォンソ・ゴンサレス上院議員(コロラド党)
地方自治体委員会	ハビエル・オソリオ上院議員(コロラド党)
公共事業通信委員会	ルイス・カスティグリオーニ上院議員(コロラド党)
エネルギー・天然資源・人口・エコロジー委員会	アルノルド・ウィンス上院議員(コロラド党)
社会的公正・ジェンダー・社会開発委員会	エミリア・アルファロ上院議員(リベラル党)
財政運営委員会	ブランカ・ミニャロ上院議員(リベラル党)
工業・商業・観光委員会	スルマ・ゴメス上院議員(リベラル党)
麻薬対策委員会	ロベルト・アセベド上院議員(リベラル党)

●また、同日選出された下院各常任委員会委員長の名簿は以下のとおり。

委員会	委員長(政党)
憲法委員会	ラモン・ロメロ下院議員(コロラド党)
立法委員会	ベルナルド・ビジャルバ下院議員(コロラド党)
経済・財務委員会	ファン・ボガード下院議員(リベラル党)

外交委員会	ホセ・マリア・イバニェス下院議員(コロラド党)
司法労働・社会福祉委員会	クレメンテ・バリオス下院議員(コロラド党)
文化・教育・宗務委員会	ビクトル・リオス下院議員(リベラル党)
人権委員会	オルガ・フェレイラ下院議員(愛国党)
広報委員会	シンシア・タラゴ下院議員(コロラド党)
国防・安全保障・国内治安・秩序委員会	ミゲル・デル・プエルト下院議員(コロラド党)
農牧委員会	エドガル・オルティス下院議員(リベラル党)
公共衛生委員会	フェルナンド・オルテジャ下院議員(コロラド党)
地方自治体委員会	トマス・リバス下院議員(コロラド党)
社会開発・人口・住宅委員会	エンリケ・ペレイラ下院議員(コロラド党)
公共事業・サービス・通信委員会	ダニー・ドゥラン下院議員(コロラド党)
予算委員会	マリオ・カセレス下院議員(コロラド党)
予算執行管理委員会	ディオニシオ・アマリージャ下院議員(リベラル党)
議会運営委員会	ホルヘ・バルハ下院議員(コロラド党)
科学技術委員会	エンリケ・ブサルキス下院議員(リベラル党)
エネルギー・鉱物・石油資源委員会	ペドロ・エスピノラ下院議員(コロラド党)
環境・天然資源委員会	パストル・ベラ下院議員(リベラル党)
農村福祉委員会	セルソ・トロチェ下院議員(コロラド党)
スポーツ委員会	サルスティノ・サリナス下院議員(リベラル党)
麻薬対策委員会	オリンポ・ロハス下院議員(リベラル党)
先住民族委員会	ミゲル・タデオ下院議員(コロラド党)

(5) 議会における法案審議

【責任ある財政運営に関する法案】

- カルテス次期大統領は、責任ある財政運営に関する法案(Responsabilidad Fiscal)の早期成立を目指しており、同次期大統領のイニシアティブにより、議会内での調整が行われた。
- 同法案が策定された経緯については、近年の財政運営について、主に①議会の承認により公務員の人件費が大幅に増加したこと、②景気回復のための政府による財政政策により財政赤字が拡大していることが問題視されており、同法案には、予算審議において議会の権限を一部制限する旨規定されている。

【穀物の輸出税の導入に関する法案】

- 穀物の輸出税の導入に関する法案については、11日に上院において可決され、引き続き下院での審議に向けた調整が行われた(注:同法案は、昨年12月4日の上院本会議において可決されたが、穀物生産業者等からの反対を受け、本年4月10日の下院臨時本会議において否決された経緯があり、今般上院本会議において再び可決されたので、改めて下院に差し戻される予定)。

2 外交

(1)OAS 関連

1日、来年当国で OAS 総会が開催されることもあり、サンネマン OAS 代表部大使が OAS 常設理事会議長に就任した(任期は1年程度)。

(2)フェルナンデス外相のイベロアメリカ外相会合出席

2日、パナマ・シティにおいてイベロアメリカ外相会合が開催され、フェルナンデス外相が出席した。今次訪問には、リバス外務副大臣(政務担当)、ロイサガ外相顧問、サギエル・イベロアメリカサミット・パラグアイ側コーディネーター等が同行した。

(3)欧州諸国によるボリビア大統領専用機に対する領空通過拒否に関するパラグアイ上院による連帯決議の採択

4日、パラグアイ上院は、欧州諸国によるボリビア大統領専用機に対する領空通過拒否について、モラレス・ボリビア大統領、同国政府及び国民への連帯を示す旨の宣言を採択した。但し、欧州諸国を非難するとの文言は入っていない。

(4)台湾国防大臣の当国訪問

8日、当国を訪問中の高華柱(Kao Hua-Chu)台湾国防大臣は、フランコ大統領を表敬した他、ガルシア国防大臣と会談した。また、同大臣は、パラグアイ国防省の軍司令センター及び軍事博物館の開所式に出席した。

(5)パラグアイのメルコスール復帰を巡る問題

●12日のメルコスール首脳会合(於:ウルグアイ・モンテビデオ)に先立ち、9日、ブラジルにおいて、パトリオッタ・ブラジル外相とアルマグロ・ウルグアイ外相が会談し、同首脳会合で取り上げられるアジェンダのうち、パラグアイのメルコスール復帰についても協議した。また、両外相は、パラグアイがメルコスールへの正式加盟を認めていないベネズエラが、同首脳会合においてメルコスールの議長国に就任することを確認した。

●同日、フェルナンデス外相は、記者会見において、ベネズエラの議長国就任は、パラグアイのメルコスール復帰を困難なものにし、また、パラグアイ政府の立場に合致せず、カルテス次期大統領がこれまで提案してきた解決策にも反するとして、メルコスールの対応を批判した。

(6)第45回メルコスール首脳会合における決定に対するカルテス次期大統領の声明

●12日にモンテビデオで開催されたメルコスール首脳会合において、パラグアイ大統領就任式が行われる8月15日をもって、パラグアイのメルコスール関連会合への参加権停止が解除されることが決議されるとともに、ベネズエラが議長国に就任した。

●これに対し、同日、カルテス次期大統領は声明を発表し、パラグアイに対する関連会合への参加権停止の解除については、そもそもパラグアイの参加権停止は、メルコスールの民主主義へのコミットメントに関するウスアティア議定書の規則に合致せず、パラグアイは同参加権停止の決定を認めていない旨述べた。

●また、同次期大統領は、同声明を通じて、ベネズエラのメルコスール正式加盟は、第三国の新規加盟の手続きについて規定しているアスンシオン条約第20条、オウロ・プレット議定書第3条及び第37条、並びにベネズエラのメルコスール正式加盟に関する議定書第12条議定書に違反

するものであるとして、パラグアイのメルコスール復帰は、法の支配及びパラグアイの尊厳が尊重される形で行われる旨述べた。

(7)インスルサOAS事務総長の当国訪問

●23日～24日、インスルサ OAS 事務総長は当国を訪問し、23日、フランコ大統領を表敬した。同事務総長は、同大統領との会談において、パラグアイを含む中南米地域の現状等について意見交換を行った。

●また、同事務総長は、カルテス次期大統領、ベラスケス議会議長、フレテス最高裁判所長官及びラミレス最高選挙裁判所長官とも個別に会談した。

●24日、インスルサ事務総長は、外務省において、国家功労勲章ホセ・ファルコン章を受章した。フェルナンデス外相は、叙勲の理由として、2012年6月のルゴ大統領弾劾に伴うフランコ政権発足後、メルコスール及び南米諸国連合(UNASUR)がパラグアイに対する関連会合への参加権停止という政治的制裁を課した一方で、OAS においては、インスルサ事務総長がパラグアイの主権を尊重する立場を取ったことを挙げ、このような同事務総長の態度を評価するとともに、謝意を表した。

(8)当地英国大使の着任

●30日、ジェレミー・ホブbs当地英国大使は、フランコ大統領に信任状を捧呈した。なお、当地英国大使館は、2005年以降、一時閉鎖されていたが、本年3月から業務を再開している。

3 要人往来

(1)来訪

●8日、高華柱(Kao Hua-Chu)台湾国防大臣(フランコ大統領表敬等)

●23～24日、インスルサOAS事務総長(国家功労勲章ホセ・ファルコン章の受章等)

(2)往訪

●2日、フェルナンデス外相、パナマ訪問(イベロアメリカ外相会合出席)

●23～26日、フェレイラ蔵相、米国訪問(米州開発銀行(IDB)訪問等)

(了)